

アンケート用紙

京都大学大学院文学研究科「学生による授業評価」(大学院演習)

このアンケートは、文学研究科の授業について、院生の皆さんからの意見を聴き、授業・教育環境の改善に役立てようとするためのものです。なお1から4の回答にあたっては該当する項目に○印を付してください。5については率直な意見をお書きください。

あなたの専修 ()
授業科目名 ()
担当教員名 ()
あなたの学年 (修士 年次) (博士 年次)

1. この授業はどのような形式でしたか。

- a. 学生が選んだ研究テーマについてディスカッションする形式
- b. 特定の文献・テキストについて、学生が発表することを中心にする形式
- c. 教員の講義を中心とする形式
- d. その他 ()

2. あなたはこの授業にどれぐらい出席しましたか。

- a. 80-100%出席した。
- b. 60-79%出席した。
- c. 40-59%出席した。
- d. 20-39%出席した。
- e. 0-19%出席した。

3. この授業が問題発見能力の向上に役立ちましたか？

- a. 大いに役立った。
- b. ある程度役立った。
- c. どちらともいえない。
- d. あまり役立たなかった。
- e. ほとんど役立たなかった。

4. この授業が問題解決能力の向上に役立ちましたか？

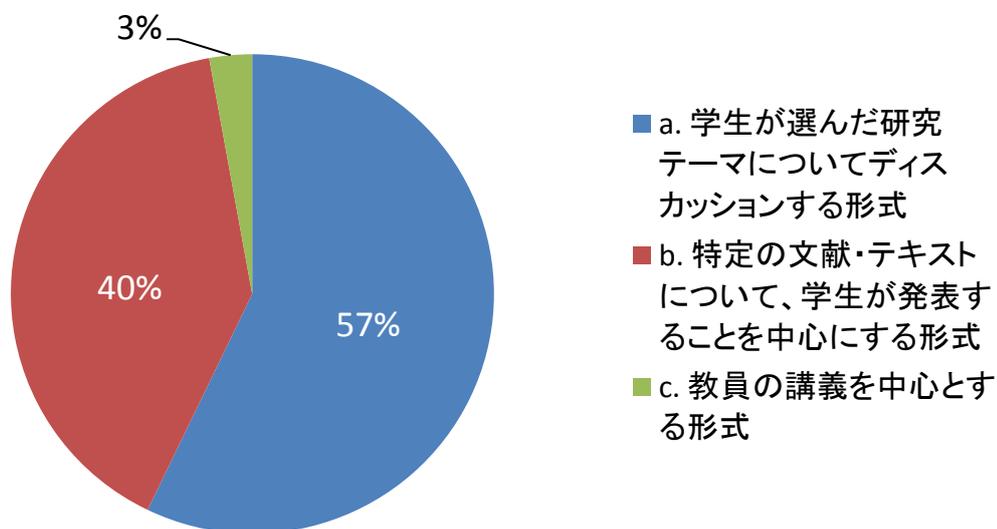
- a. 大いに役立った。
- b. ある程度役立った。
- c. どちらともいえない。
- d. あまり役立たなかった。
- e. ほとんど役立たなかった。

5. この授業についての感想、授業の内容・方法などについて希望、改善してほしい点、授業環境についての要望などを自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

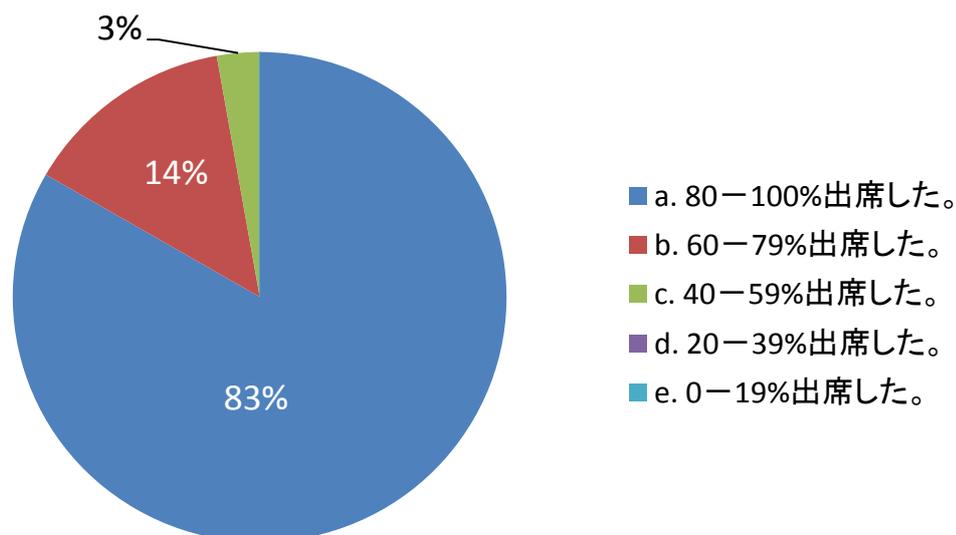
分析と結果 回答者36名

1. この授業はどのような形式でしたか。



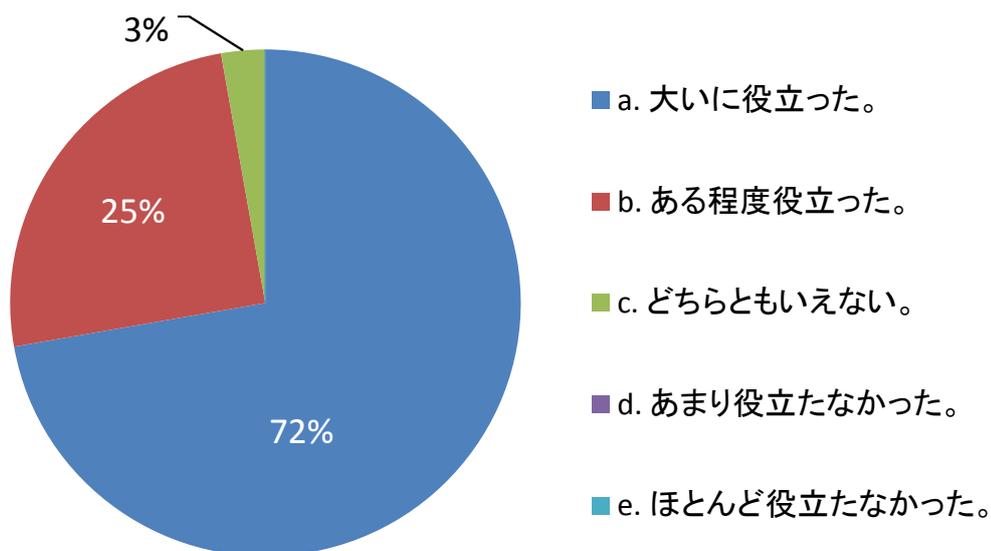
対象となった授業は1つを除いて、演習である。3分の1が文献の学生による発表、3分の2が特定のテーマに関する討論形式のものであった。

2. あなたはこの授業にどれぐらい出席しましたか。

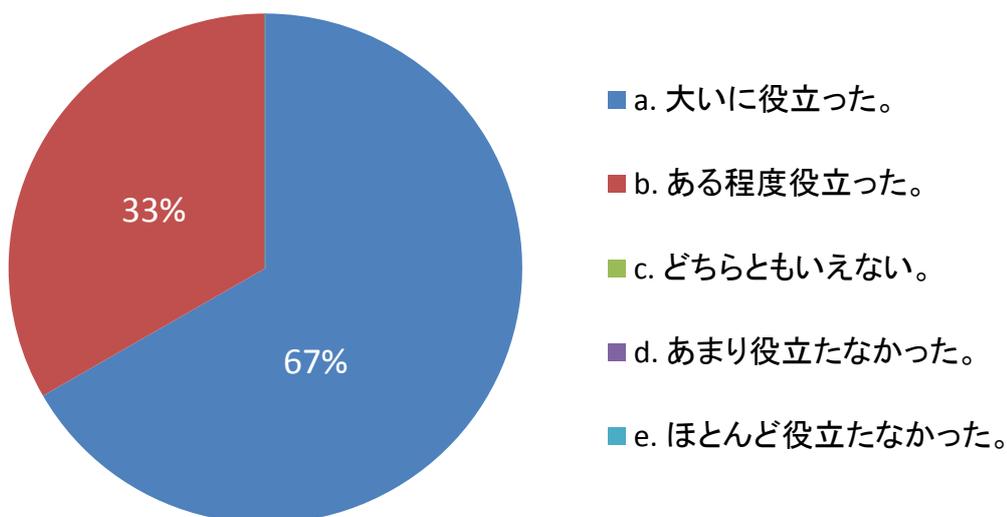


出席率は80%以上出席しているものが83%、60%~79%の出席率が14%である。比較的高い出席率は少人数の演習であることと相関があるであろう。

3. この授業が問題発見能力の向上に役立ちましたか？



4. この授業が問題解決能力の向上に役立ちましたか？



授業が問題発見能力の向上に役にたったと回答した学生が、36名中35名、97%以上となる。また、問題解決能力の向上に役立ったと回答した学生は、大いに役立った、ある程度役立ったを合わせると100%になる。

5. 総評

基本的に学生の満足度はどの授業に対しても高いと判断できる。

大学院授業評価アンケート（平成24年度実施）

1. この授業はどのような形式でしたか。	回答数	比率
a. 学生が選んだ研究テーマについてディスカッションする形式	20	57%
b. 特定の文献・テキストについて、学生が発表することを中心にする形式	14	40%
c. 教員の講義を中心とする形式	1	3%
d. その他()	0	0%
無回答	1	

2. あなたはこの授業にどれぐらい出席しましたか。	回答数	比率
a. 80－100%出席した。	30	83%
b. 60－79%出席した。	5	14%
c. 40－59%出席した。	1	3%
d. 20－39%出席した。	0	0%
e. 0－19%出席した。	0	0%

3. この授業が問題発見能力の向上に役立ちましたか？	回答数	比率
a. 大いに役立った。	26	72%
b. ある程度役立った。	9	25%
c. どちらともいえない。	1	3%
d. あまり役立たなかった。	0	0%
e. ほとんど役立たなかった。	0	0%

4. この授業が問題解決能力の向上に役立ちましたか？	回答数	比率
a. 大いに役立った。	24	67%
b. ある程度役立った。	12	33%
c. どちらともいえない。	0	0%
d. あまり役立たなかった。	0	0%
e. ほとんど役立たなかった。	0	0%